

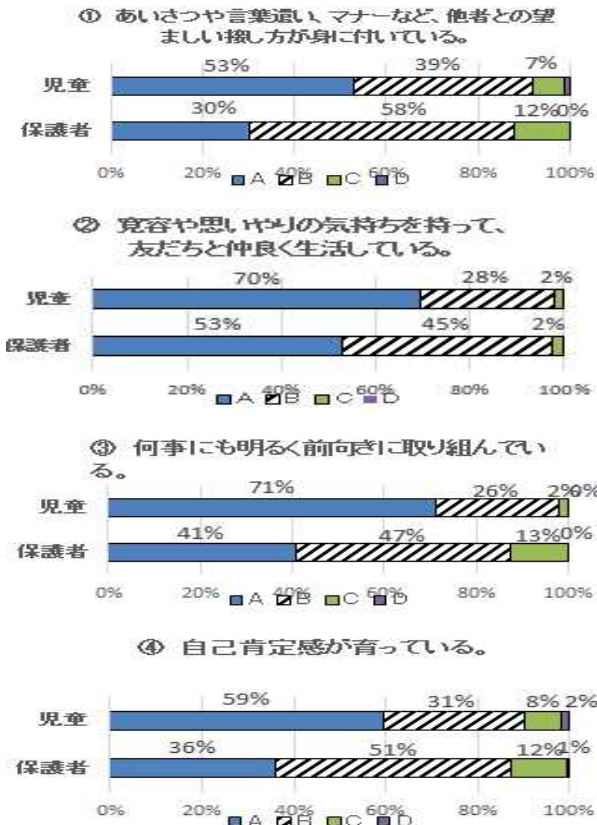
◇児童・保護者アンケートの結果について◇

過日実施しましたアンケートの結果についてお知らせします。今後、この結果をもとに改善策等を検討し、教育活動に生かしてまいります。また、記入していただいた貴重なご意見も参考にさせていただき、これからの教育活動に役立てていきたいと思っております。保護者の皆様のご協力、大変ありがとうございました。

実施時期：令和4年12月 回答数：保護者91.6% 児童96.9%

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない (注) %の合計は、四捨五入のため100%にならないものもあります。

◆心豊かな子の育成



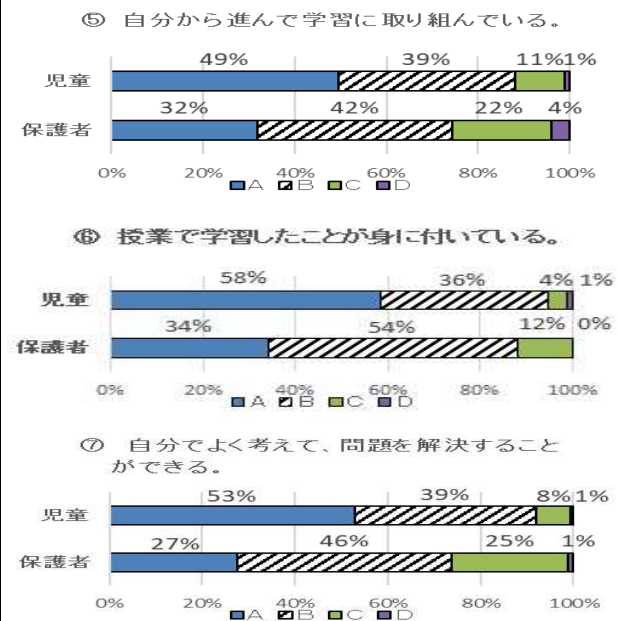
質問①挨拶について、児童・保護者ともに8割以上が「あてはまる」と回答しています。「よくあてはまる」と回答している児童も50%を超えています。朝の挨拶ができない子が多いと、意見もありました。登校時に見守ってくださる保護者の方の挨拶がお手本となり、挨拶できる子どもも増えていきます。挨拶は、基本的な生活習慣の中で最も大切なものの一つで、社会生活の第一歩です。今後も「**あいさつのできる子**」の育成に力を入れていきます。

質問②「思いやり、友だちと仲良く」とについては、保護者は向上したものの児童の「よくあてはまる」は減少しています。自信をもって「思いやりの気持ちをもっている」と思えるよう子どもたちの様子を見守り、支援指導に努めます。

質問③「明るく前向きな取組」は、児童保護者とも大きく向上しました。様々な活動、行事ができるようになっていくことが一因かもしれません。元気に活動させたいものです。

質問④「自分にはよいところがある」と児童の自信が育ってきています。自分に自信をもち自分を大切にできると、真に友達や周りの人を思いやることができます。家庭と連携して自己肯定感を育てていきたいと思っております。

◆進んで学ぶ子の育成



質問⑤「自分から進んで学習に取り組んでいる」では、88%の児童があてはまると回答し、昨年より向上しました。保護者は74%と、この3年間で最も高くなり、児童と保護者の差が小さくなりました。「あてはまらない」と答えた児童が減っており、自主的な学習を自覚していることは、とてもよいことです。また、保護者の肯定的な回答からは、家庭で宿題や自主学習など、学習に向かっていることが分かります。

質問⑥は、児童・保護者とも、昨年とくらべ「あてはまる」の回答が増えました。毎年向上しています。授業では、この時間に学ぶこと、授業の「めあて」を明確にして取り組み、わかったこと、できたことを「ふりかえる」ことを積み重ねています。今後も子どもたちが主体的に学び、「わかった。できた。」と実感できる授業を目指していきます。

質問⑦も、児童・保護者とも向上しています。特に児童の向上が大きく、授業での前向きな取組が伝わります。授業中「分からない」が解決する喜びを教師もともに味わいたいものです。

質問⑤⑥⑦いずれにおいても、昨年にくらべ保護者の回答は「よくあてはまる」が増えています。

子どもたちが「がんばっている」ことを家庭で認められるのは、さらに意欲を高めることにつながります。

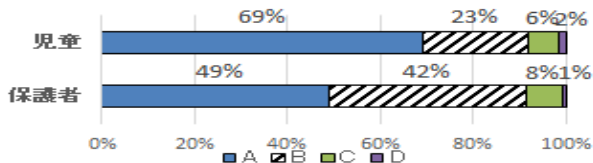
今後も、授業と家庭学習がうまく関連付けられるよう指導していくことに努めていきます。

ご家庭では、家庭学習の習慣化を図れるよう、時間の確保や環境づくりにご協力をお願いします。

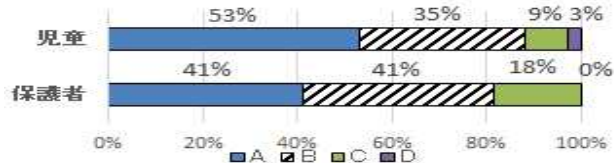


◆健康でたくましい子の育成

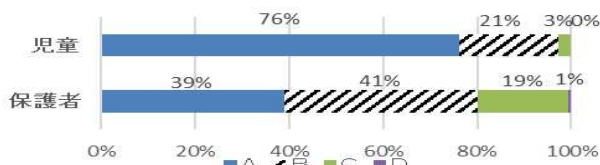
⑧ 授業中(体育)や休み時間など積極的に運動をしている。



⑨ 運動の目当てに向かって、最後まで粘り強く取り組んでいる。



⑩ 健康に関心を持ち、安全な生活を心掛けている。

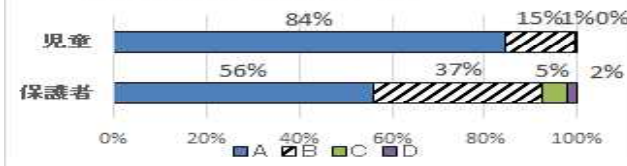


質問⑧「運動への関心」は「あてはまる」と回答した児童は昨年同様92%、保護者は91%とやや向上しました。質問⑨「粘り強さ」は、児童が81%→88%、保護者は78%→82%といずれも向上しています。運動や外遊びへの関心の高さが現れていますが、休み時間の様子を見るとき室内でタブレットを使用している姿もありますので、晴れた日には屋外で身体を動かす声かけをしていきたいと思ひます。

質問⑩「健康に関心を持ち、安全な生活を心掛けている」では、「あてはまる」と回答した児童が97%と非常に高くなりました。感染症対策に子どもたちもしっかり取り組んでいます。保健委員会による怪我に注意する呼びかけなど、安全に注意する活動をしました。毎日の検温をはじめ、ご家族揃っての健康管理へのご協力に心より感謝申し上げます。今後も心身共に健康でたくましい子の育成に努めていきます。

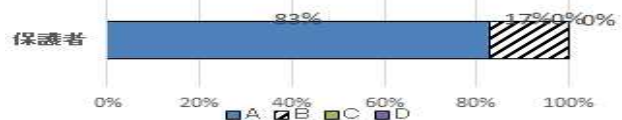
◆信頼される学校づくり

⑪ 先生は、一人一人を大切に、熱心に児童の教育に当たっている。



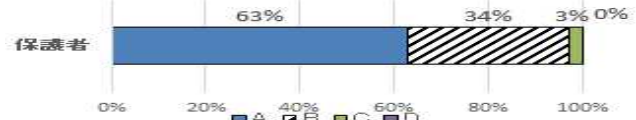
質問⑪「先生は一人一人を大切に、熱心に児童の教育に当たっている」では、保護者の「よくあてはまる」の回答が53%→56%と微増したものの「あてはまらない」「あまりあてはまらない」との回答が、児童1%、保護者7%でした。この結果を真摯に受け止め、子どもたち一人一人と向き合い、信頼される教職員、学校を目指していきたいと思ひます。そして、学校生活の基盤となる学級が、互いに「認め合い・励まし合い・助け合う」ことのできる温かい集団となるよう、教職員も助け合っ、取り組んでいきます。今後も、ご心配やお気付きの点がありましたら、遠慮なくご連絡ご相談くださるようお願いいたします。

⑫ 一部の教科担任制は児童にとってよいと思ひます。

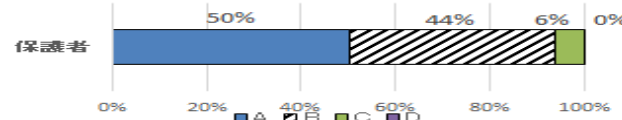


質問⑫上学年において、一部教科担任制を実施しています。否定的な回答はなく、すべての質問項目の中で「よくあてはまる」の回答(83%)が最も高くなっています。今後も工夫して実施していきたいと考えています。

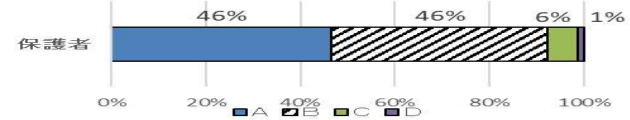
⑬ 学校は、積極的に学校や児童の様子等を公開している。



⑭ 学校は、家庭・地域等と連携・協力して、教育活動の充実を図っている。

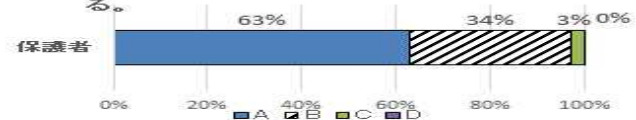


⑮ 学校は、適切な教育方針を立て、教育活動を進めている。

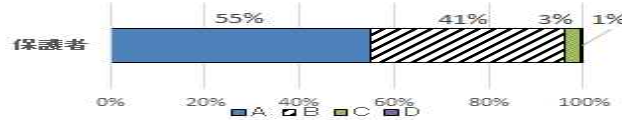


質問⑬は向上しましたが、⑭⑮は、「よくあてはまる」が減少しました。同様の教育活動を実施しても、情報発信に課題があったかもしれません。今後も家庭と地域とともに教育活動の充実を図っていききたいと思ひます。

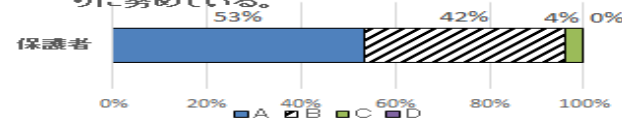
⑯ 学校は小中一貫教育の目指す子ども像を意識し特色ある教育活動をすすめている。



⑰ 教職員は分かりやすい授業づくりに努めている。



⑱ 学校は、児童が楽しく学校に通えるようにいじめ(不正)や暴力行為のない学校づくりに努めている。



質問⑯～⑱は、下野市立学校共通の質問です。⑯小中一貫教育の取組についてやや理解が進みました。⑰「分かりやすい授業づくり」⑱「いじめや暴力行為のない学校づくり」においては改善が見られました。特に⑱「いじめや暴力行為のない学校づくり」では「よくあてはまる」が13%増えました。しかし「あてはまらない」は0を目指さなければいけません。「分かる、おもしろい授業」「当たり前が当たり前でできる学校」は、目指すべき姿であり、それが何より子どもたちの安心・安全につながるものと思ひます。

最後になりましたが、結果は日頃の教育活動や学校運営の評価と捉え、見直す手がかりとしたいと思ひます。今後も児童の健全育成のため、学校・家庭・地域との連携にご理解とご協力をお願いいたします。